

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス マイカ		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の特性理解に基づいた支援を行っている	日々の支援においては、振り返りの時間を設け、自身の気持ちや行動を整理する機会を大切にしている。また、困りやすい場面に対して事前に準備や関わりを行い、適切な対処方法を学べるように支援をしている。さらに、楽しみながら成長できる環境づくりを行っている	今後は、支援の見える化を進め、職員間の共有や保護者への発信を強化していく。また、子ども自身が課題に気づき主体的に行動できるような関わりを行う。さらに、関係機関と連携を強化し、より実践的な経験の機会を提供していく
2	現場での対応力と実践力を伝える	支援の中では、あえて課題となる場面を設定し、その場での適切な対応を学べるようにしている。また、活動後には振り返りを行い、職員が必要に応じて代弁をしながら気持ちの整理を支援している。さらに成功体験を意識的に積み重ねることで、自己肯定感の向上につなげている	今後は、支援方法の標準化と共有を進め、職員間での支援の質の均一化を図る。また、子どもが考え行動できるような関わりを強化し、主体性の向上を目指す。さらに地域資源を活用した外出や体験できる活動を増やし、実社会での対応力を高めていく
3	将来の自立に向けた支援を行っている	日々の罫線では、子ども自身が自分の気持ちに気づき、言葉で表現できるよう関わっている。また、選択肢を提示することで、自らが考えて行動する機会を増やしている。さらに生活に即した課題に取り組むことで、実践的なスキルの定着を図っている	今後は、子ども自身が課題を見つけ、解決に向けて行動できる力の育成を強化していく。また、保護者や関係機関との連携を吹かかぬ、支援の一貫性を高める。さらに、地域との関わりを増やす社会参加の機会を広げていく